

ランチョンセミナー (国研) 科学技術振興機構,
株式会社ジー・サーチ / Z-2

開催日時・会場 9月19日(水曜日) 12:10-13:10 402(4階)

日本最大級の研究者総覧researchmapの概要と今後の計画,
産学連携加速に向けたJDreamⅢ データ活用

○国立研究開発法人科学技術振興機構

国内最大級の研究者データベースであるresearchmapは、国内の研究者情報の分散や非効率性を解消する目的でサービスを提供している。運営主体は科学技術振興機構であり、国立情報学研究所がシステムの研究開発を実施している。

researchmapでは、業績情報の登録を効率的に行うために、各業績を外部データベースから取り込んで登録することができ、その業績を競争的資金の申請時や履歴書の作成に利用することができる。また、researchmapは大学・研究機関等においても、自機関研究者情報の管理や、研究者総覧の構築に活用されている。さらに、現在、研究者ならびに機関から寄せられた要望を基に次期researchmapの開発を行っており、業績の自動登録をはじめとした様々な機能の実装を予定している。

本講演では、researchmapの概要について、機関における利用状況にも触れながら説明するとともに、2019年度サービス開始予定である次期researchmapの開発のねらい、実装予定の機能等について紹介する。

○株式会社ジー・サーチ

国内最大級の科学技術文献データベースであるJDreamⅢは2018年4月にリニューアルし、新たに解析可視化機能を搭載した。本講演ではJDreamⅢの強化点とともに 本年末に提供を予定している事業戦略支援サービスについて紹介する。

産学官連携において、課題を持つ企業とその課題を解決しうる大学研究者とのマッチングには、産学官連携コーディネーターの役割が大きい。しかしながら企業側から見ると共同研究者候補を地方国立大学や私立大学を含めて広く探したいとの思いも強い。当社ではJDreamⅢのデータを基に、実際に課題持つ企業に協力をいただき、課題を入力するとその課題を解決しうる共同研究者候補を提示するシステムの実証実験を2016年から2017年にかけて実施した。この実証実験の結果をもとに現在開発を進めている事業戦略支援サービスの一つ、「研究者マッチング(仮称)」について紹介する。

講演者

粕谷 直 国立研究開発法人科学技術振興機構
知識基盤情報部人材情報グループ・係員

(国研)JST, 株式会社ジー・サーチ/Z-2 (ランチオンセミナー)

講演者

長谷川 均 株式会社ジー・サーチ
サイエンスコンテンツサービス部・担当部長